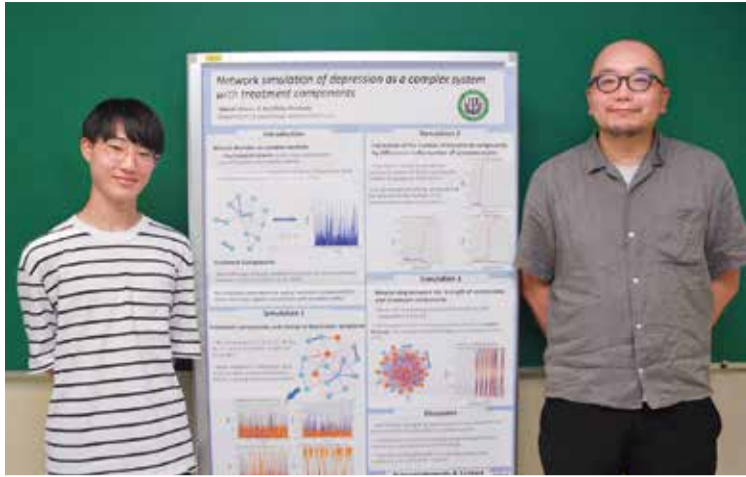


発表したポスターを囲む大水さん(左)と国里教授



### ALIFE'23でポスター発表

国里研究室 大水さん(人間科学4)

国際人工生命学会(ALIFE)2023で、人間科学部心理学科4年次生の大水拓海さんがポスター発表を行った。ALIFEは人工生命について世界をリードするさまざまな分野の研究者が集まる国際会議で、今年度は7月末、札幌市で開催された。

大水さんのテーマは「治療コンポーネントを導入した複雑系としてのうつ症状のネットワークシミュレーション」。症状同士の結びつきの強さのほかに治療的要素などを加味したネットワークをモデル化し、症状だ

### 経営「ビジネス研究B(広報デザイン)」学部のオウンドメディア提案



優秀賞に選ばれた作品と、制作した赤坂さん、西村さん、吉武さん(左から)

経営学部の「ビジネス研究B」は、社会のニーズに岩田弘尚教授・三宅秀道准教授は前期の授業で、広報マネジメン

7月18日には最終報告会が開かれ、10チームが制作したコンテンツを発表した。

テーマは「経営学部のオウンドメディアを企画しよう」。オウンドメディアとは、企業や組織が自ら保有するメディアのこと。今回はウェブサイト

制作したコンテンツを発表する学生

専修大学松戸高校(千葉県松戸市、五味光校長)が、第105回全国高校野球選手権大会に出

専大松戸高 夏の甲子園でベスト16入り

専修大学松戸高校(千葉県松戸市、五味光校長)が、第105回全国高校野球選手権大会に出

報告 乾吉佑氏(いぬいよしすけ) 名誉教授・元人間科学部教授

9月7日、80歳で死去。1997年から2013年まで在職。専門は臨床心理学。

## JFNラジオCMコンテスト 最優秀賞に茂木さん(文2) 全国のFM38局で受賞作放送

全国の大学生や専門学校生を対象にした「JFNラジオCMコンテスト」で、2023〜ラジオに乗せて、学校アピール〜で、茂木美穂さん(文2)が最優秀賞を獲得した。受賞作「真実」篇一は、8月1日から1カ月間、TOKYO FMをキー局とする、全国38局のFM局で放送された。

このコンテストは、全国38社のFM放送局が加盟する全国FM放送協議会(JFN)が、「学生自身の学び舎」をテーマに毎年開催。学生らしい自由な発想と表現力によるオリジナルのラジオCMコピー(原稿)を募集している。今年は2600作品以上の応募があり、2次選考通過者は、放送局のサポートを受けながらラジオCMの形に仕上げ、最終選考に進んだ。



文学部ジャーナリズム学科のプロジェクトAにて、広告学が専門の松岡郁子特任教授の指導のもと、さまざまなクリエイティブワークに取り組んでいる。茂木さんは、授業で作成したCMコピーを今回のコンテストに応募した。

作品は、卵が品切れになつて原因を巡る若者たちの軽妙な会話劇から「真実を見極める!」専門用語を交えて鋭い言葉で学科の魅力をアピールした。

7月20日、都内で授賞式があり、賞状やトロフィーが贈られた。茂木さんは、「作成したコピーがラジオCMになり、感動している。アイデアに詰まり、心が折れかけたこともあったが、頑張った良かった。受賞を励みに、将来は広告の道に進みたい」と笑顔で語った。



法教育プロジェクト 模擬国会で法案作成

第二東京弁護士会と埼玉弁護士会から若手弁護士を招き「ジェンダー」(成年年齢引き下げ)という二つのテーマについてグループワークを行った。

「ジェンダー」グループでは、女性議員の比率を増やすための方策について検討を行った。女性の政治参画を促すためのクオータ制の立法まで視野に入れて討論した。

プロジェクトに参加した学生からは「議論をするのは楽しかった。周りの人の意見を聞いて、その上で自分の意見を自身に問い直すことが大切だと感じた」などの感想があった。

### キャンパス・ハラスメント防止啓発活動：免疫システムに例えて

2023年1月に公表された本学の「キャンパス・ハラスメント防止宣言」は、全ての学生や教職員等を個人として尊重し、快適な学修、教育、労働、研究環境を作り維持することを重要視しています。キャンパス・ハラスメント防止啓発活動は、学生や教職員等の個々の目標や大学の使命を果たすための根拠を守る活動と捉えると、人体の免疫システムに例えることができそうです。ハラスメントの適切な理解と防止啓発活動は、免疫システムを高めるような役割を果たすことになり、快適な学修、教育、労働及び研究を促進し、キャンパスの健全な環境をサポートする重要な要素になると思います。

一方、過剰にハラスメントに反応してしまうと、コミュニケーションが損なわれる可能性があります。

富山尚徳理事長、五味校長らが、本学の松木健一理事長や佐々木重人学長らと懇談。大森准学長は、「大勢の方に応援していただけたことがうれしく、最高の夏になった」と振り返り、「甲子園の土」を松木理事長らに手渡した。

TEL: 044-900-7858  
E-mail: camhara@acc.senshu-u.ac.jp